

Ⅲ. 環境の現況

1. 大気環境

(1) 大気汚染と環境基準

大気汚染物質は、濃度によって人の健康などに悪影響を及ぼすことがありますので、環境基本法に基づき、人の健康を保護し生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準について、*環境基準として定められています。

光化学オキシダントは、大気中の窒素化合物や炭化水素が太陽の紫外線を受けて化学反応を起こし発生する汚染物質で、いわゆる光化学スモッグの原因となります。人体に粘膜への刺激、呼吸器への影響を及ぼすほか、農作物など植物への影響も観察されています。日差しが強く、気温が高く、風が弱い日に濃度が高くなりやすく、注意が必要です。

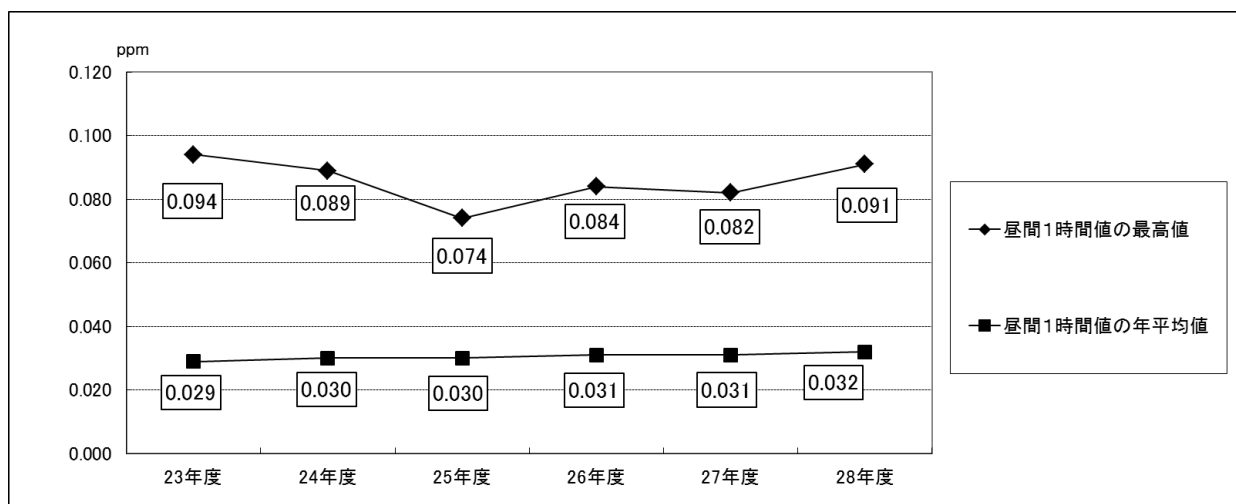
*環境基準については、資料編 43～44 ページを参照ください。

(2) 大気汚染の現状

福島県では一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局を配置し、住宅地などの一般的な生活空間における大気の汚染状況を測定しており、本市では、福島県二本松合同庁舎において光化学オキシダントの測定をしています。

これまで、光化学注意報（0.12ppm 以上になり、かつ、この状態が継続すると認められる時に発令）が発令されるまでには至っておりませんが、発令された場合には窓を閉め、外出を控えることが最善の対策となります。

【光化学オキシダント濃度測定結果】



(資料：福島県)

(3) ダイオキシン類による大気汚染と環境基準

ダイオキシン類は、私たちの身の回りに存在する人工的な化学物質の中で、人の健康や生態系に悪影響をもたらす可能性があると考えられ、中でも深刻な影響をもたらす物質と考えられています。

ダイオキシン類に関しては、「ダイオキシン類対策特別措置法」により、大気の汚染、水質の汚濁、土壌の汚染に関し、環境基準が定められています。

(4) ダイオキシン類による汚染の状況

本市では福島県により「ダイオキシン類地下水調査」「ダイオキシン類一般環境土壌調査」が行われております。調査した各地点とも、環境基準に適している状況が確認されています。

【ダイオキシン類地下水調査結果】

(水質環境基準値：1pg-TEQ/L)

年度	調査地点	調査結果 (pg-TEQ/L)	環境基準の適否
17	—	—	—
18	上長折	0.066	○
19	新生町	0.048	○
20	—	—	—
21	—	—	—
22	—	—	—
23	鈴石町	0.12	○
24	—	—	—
25	—	—	—
26	—	—	—
27	—	—	—
28	—	—	—
29	—	—	—

(資料：福島県)

【ダイオキシン類一般環境土壌調査結果】

(土壌環境基準値：1000pg-TEQ/g)

年度	調査地点	調査結果 (pg-TEQ/L)	環境基準の適否
17	油井	0.0038	○
	小浜	0.075	○
	太田	0.023	○
18	渋川	4.9	○
	小浜	0.0013	○
19	表	0.48	○
20	—	—	—
21	油井	0.24	○
22	—	—	—
23	—	—	—
24	—	—	—
25	油井	1.9	○
26	—	—	—
27	—	—	—
28	—	—	—
29	—	—	—

(資料：福島県)

(5) 酸性雪の状況

東北都市環境問題対策協議会と共同で東北地方の酸性雨の動向を把握するため、酸性雪の実態調査を行っており、市庁舎において雪の採取をしています。

酸性化すると、湖沼等では魚類の生育を脅かし、土壌等では植物に有害な重金属イオン等を溶け出させるなどの影響があるとされています。

なお、測定の結果、酸性雪が確認されています。

【酸性雪調査結果の推移】

年度	時 期	貯水量 (ml)	pH	導電率 (μs/cm)
22	第1期	0	-	-
	第2期	0	-	-
	第3期	320	5.4	6.5
	第4期	2,000	5.6	1.6
23	第1期	50	6.1	6.5
	第2期	100	6.8	4.4
	第3期	800	5.9	1.6
	第4期	0	-	-
24	第1期	200	6.5	3.2
	第2期	900	6.1	1.1
	第3期	700	6.9	4.5
	第4期	200	6.6	4.2
25	第1期	0	-	-
	第2期	0	-	-
	第3期	200	6.1	3.8
	第4期	1,500	6.0	0.6
26	第1期	421	4.8	2.1
	第2期	934	6.2	1.1
	第3期	115	6.9	6.4
	第4期	0	-	-
27	第1期	710	6.4	0.9
	第2期	680	5.2	0.8
	第3期	-	-	-
	第4期	650	6.0	1.3
28	第1期	77	6.8	5.3
	第2期	96	5.5	5.1
	第3期	620	5.9	1.3
	第4期	-	-	-
29	第1期	89	6.5	35.0
	第2期	145	6.9	4.0
	第3期	430	6.2	2.5
	第4期	271	5.7	5.0

(資料：二本松市生活環境課)

(注1) pH：5.6以下が酸性。

(注2) 導電率：数値が大きいほど水が汚れている。

2. 水質

(1) 水質汚濁と環境基準

水質汚濁の主な原因物質は、有機物などの栄養塩類、重金属や揮発性有機化合物(VOC)などの物資です。一般的には、工場や事業所などの産業排水、家庭から排出される生活排水などとされていますが、現在の水質汚濁原因の5割近くは生活排水によるものとされています。

水質汚濁に係る※環境基準は、「人の健康の保護に関する基準（以下、「健康項目」という。）」と「生活環境に関する基準（以下、「生活環境項目」という。）」に分けられます。健康項目は全水域一律の基準で、生活環境項目は河川・湖沼・海域に分け、利用項目に応じて類型別に基準を定めています。

***環境基準については、資料編 45～47 ページを参照ください。**

(2) 河川水質汚濁の現状

水質汚濁は、生活排水による有機物質、窒素、リンなどの負荷量の大きさにより増大します。

福島県では、公共用水域の水質汚濁の状況を把握するため阿武隈川ほか5河川について、本市においては前述の6河川を含め21河川34箇所において、水質検査を実施しています。

阿武隈川は「達成することが望ましい基準」として、BOD（生物化学的酸素要求量）が3mg/l以下であることが定められています。

県の調査においては、高田橋付近での測定結果は基準を下回る状況にあります。

そのほか5河川については法的基準の定めはありませんが、上記の基準を当てはめた場合には、六角川、鯉川の阿武隈川合流前の地点でBODが高い数値を示しています。

市の調査においては、BODの単純平均値であります。六角川で当てはめ値3mg/lを超える状況が測定されています。

【河川水質調査結果の推移（県調査分）】

水系	測定場所	類型	年度	pH	DO (mg/ℓ)	BOD		SS 年平均值 (mg/ℓ)	大腸菌群数	
						年平均值 (mg/ℓ)	75%値 (注1)			
阿武隈川	高田橋	B	24	7.0~7.7	10	2.2	2.5	5.5	13,000	
			25	7.1~8.1	10	2.0	2.3	6.4	6,600	
			26	7.3~8.1	9.8	1.8	2.0	5.8	8,600	
			27	7.4~8.4	9.8	1.9	2.1	4.2	7,500	
			28	7.4~7.5	9.9	2.2	2.9	4.0	8,100	
移川	小瀬川橋	-	24	-	-	-	-	-	-	
			25	7.8~8.0	11	1.3	0.7	2.5	16,000	
			26	-	-	-	-	-	-	-
			27	-	-	-	-	-	-	-
			28	7.8~8.0	11	0.7	0.7	1.7	8,800	
油井川	油井川橋	-	24	7.4~7.5	11	1.0	0.9	2.5	29,000	
			25	7.4~7.6	11	1.3	1.3	1.8	22,000	
			26	7.1~7.9	11	1.1	1.5	2.5	12,000	
			27	-	-	-	-	-	-	
			28	-	-	-	-	-	-	
杉田川	落合橋	-	24	-	-	-	-	-	-	
			25	-	-	-	-	-	-	
			26	7.5~9.1	11	1.1	1.3	2	3,600	
			27	-	-	-	-	-	-	
			28	-	-	-	-	-	-	
鯉川	阿武隈川 合流前	-	24	7.6~8.5	11	4.5	3.1	1.8	140,000	
			25	-	-	-	-	-	-	
			26	-	-	-	-	-	-	
			27	7.7~9.2	13	3.5	3.9	3.3	8400	
			28	-	-	-	-	-	-	
六角川	阿武隈川 合流前	-	24	-	-	-	-	-	-	
			25	7.4~7.8	11	6.8	7.9	3.5	280,000	
			26	-	-	-	-	-	-	
			27	-	-	-	-	-	-	
			28	7.4~7.7	9.4	4.8	4.6	3.0	160,000	

(資料: 福島県)

(注1) 75%値: n個の日間平均値を水質の良いものから並べたとき、 $0.75 \times n$ 番目にくる数値をいいます。

(注2) 結果は年平均值です。

【平成29年度河川水質検査（市調査分）】

採取地点		項目	pH	BOD	COD	DO	SS	大腸菌群数	n-ヘキササン抽出物質	T-N	T-P
			(-)	(mg/ℓ)	(mg/ℓ)	(mg/ℓ)	(mg/ℓ)	(MPN/100mℓ)	(mg/ℓ)	(mg/ℓ)	(mg/ℓ)
二本松地域	1	六角川 (養の神橋)	7.6	1.4	4.6	7.9	5.3	330,000	<0.5	1.0	0.1
			7.5	2.5	4.0	11.0	2.1	24,000	<0.5	1.9	0.12
	2	鯉川(1) (鯉川橋)	7.8	1.3	4.8	9.4	14.0	110,000	<0.5	0.97	0.07
			7.7	2.4	3.1	12.0	1.2	17,000	<0.5	1.7	0.1
	3	杉田川 (杉田橋)	7.6	1.0	5.6	9.4	26.0	79,000	<0.5	0.67	0.07
			7.7	1.4	1.9	13.0	<1.0	3,300	<0.5	0.51	<0.06
	4	羽石川 (木藤次郎内橋)	7.6	1.5	7.4	9.3	45.0	330,000	<0.5	0.93	0.13
			7.8	1.5	2.6	12.0	<1.0	17,000	<0.5	1.5	0.1
	5	平石川 (八串遠橋)	7.7	1.6	6.8	8.4	9.7	33,000	<0.5	2.3	0.13
			7.7	0.9	2.6	12.0	<1.0	200	<0.5	2.8	<0.06
	6	原瀬川 (蟹澤橋)	7.5	0.7	3.7	9.6	5.5	7,900	<0.5	0.79	<0.06
			7.7	0.9	1.4	12.0	<1.0	20	<0.5	0.38	<0.06
	7	払川(1) (加持内橋)	7.7	0.8	5.4	9.3	27	130,000	<0.5	1.2	<0.06
			7.7	0.8	1.2	13.0	<1.0	200	<0.5	2.0	<0.06
	8	油井川(1) (荒神橋)	7.3	0.3	2.2	9.7	4.5	23,000	<0.5	0.36	<0.06
			7.6	0.6	0.7	12.0	<1.0	270	<0.5	<0.24	<0.06
	9	浅川 (観音堂橋)	7.8	2.2	6.4	8.7	6.5	130,000	<0.5	1.6	0.13
			7.6	1.9	3.2	12.0	3.8	13,000	<0.5	2.3	0.09
	10	阿武隈川(1) (菅田橋)	7.7	1.0	4.4	7.9	16	79,000	<0.5	1.2	0.08
			7.8	1.5	3.2	13.0	1.5	3,300	<0.5	1.6	0.11
11	阿武隈川(2) (智恵子大橋)	7.7	1.4	4.7	8.4	16	23,000	<0.5	0.93	0.08	
		7.8	1.6	3.5	12.0	1.7	2,300	<0.5	1.8	0.08	
12	箕輪用水(1) (岳公園入口)	7.7	0.4	1.1	8.7	<1.0	2,300	<0.5	0.5	<0.06	
		3.6	0.7	1.5	11	2.1	2,200	<0.5	0.35	<0.06	
13	箕輪用水(2) (岳温泉大和)	7.8	0.2	1.4	9.1	4.7	220	<0.5	0.59	<0.06	
		5	1.7	1.4	11	3.6	2	<0.5	0.41	<0.06	
14	箕輪用水(3) (岳温泉横森)	6.3	0.4	1.6	9.4	3.9	4,900	<0.5	1.2	<0.06	
		4.8	1.6	1.3	12	2	210	<0.5	0.45	0.08	
15	箕輪用水(4) (岳温泉横森)	6.3	0.3	1.5	9.4	3.9	1,400	<0.5	0.53	<0.06	
		5	1.3	1.2	12	2.1	170	<0.5	0.41	0.07	
安達地域	16	水原川 (観音堂橋)	7.5	0.7	2.8	9.6	6.8	33,000	<0.5	0.86	<0.06
			7.3	1.7	1.5	14.0	<1.0	2,300	<0.5	0.73	<0.06
	17	払川(2) (田子屋橋)	7.6	0.5	3.2	9.4	8.8	490,000	<0.5	1.2	<0.06
			7.3	0.8	1.8	13.0	<1.0	1,300	<0.5	2.0	0.06
	18	轟川 (松葉橋)	7.5	0.6	4.7	9.0	15	79,000	<0.5	1.8	0.06
			7.2	2.2	3.1	13.0	<1.0	54,000	<0.5	1.9	0.10
	19	油井川(2) (油井川橋付近)	7.5	0.7	2.0	9.8	5.5	33,000	<0.5	0.74	<0.06
			7.3	0.9	0.9	13.0	<1.0	1,700	<0.5	0.6	<0.06
	20	鯉川(2) (天皇田橋)	7.8	1.2	4.0	9.9	6.3	170,000	<0.5	1.2	<0.06
			7.4	1.2	2.5	13.0	<1.0	13,000	<0.5	1.7	0.09

岩代地域	21	小浜川(1) (前田橋)	7.7	0.6	5.8	8.7	10	170,000	<0.5	1.1	0.08
			7.5	0.6	1.8	12.0	<1.0	680	<0.5	1.4	<0.06
	22	小浜川(2) (柏木田橋)	7.9	2.0	8.8	8.7	68	330,000	<0.5	1.2	0.28
			7.7	0.8	2.1	12.0	2.4	11,000	<0.5	1.7	0.07
	23	移川(1) (川前橋)	7.9	0.7	4.0	9.1	5.1	79,000	<0.5	0.98	<0.06
			7.6	0.8	1.4	12.0	<1.0	2,100	<0.5	1.5	<0.06
	24	移川(2) (移川橋付近)	8.0	0.7	5.2	9.1	13	330,000	<0.5	0.9	<0.06
			7.6	0.6	1.8	12.0	<1.0	2,300	<0.5	1.3	<0.06
	25	口太川(1) (口太川橋)	7.8	2.3	3.3	8.8	8.8	33,000	<0.5	1.7	0.06
			7.6	0.9	1.3	12.0	2.1	200	<0.5	1.4	<0.06
東和地域	26	針道川 (盤城橋)	7.8	1.5	4.5	8.8	3.8	330,000	<0.5	1.4	0.08
			7.6	0.9	1.6	12.0	<1.0	2,300	<0.5	2.3	0.06
	27	木幡川 (問屋橋)	7.9	1.4	6.6	9.0	17	170,000	<0.5	1.0	0.13
			7.7	1.1	2.4	12.0	<1.0	4,900	<0.5	2.0	0.19
	28	若宮川 (早稲田橋)	7.8	1.3	5.6	8.6	9.9	130,000	<0.5	0.98	0.14
			7.7	0.9	2.5	12.0	<1.0	7,000	<0.5	1.8	0.08
	29	安達太田川(1) (美女木下橋)	7.8	0.7	4.0	8.9	7.8	5,400,000	<0.5	1.6	0.42
			7.7	1.1	1.7	11.0	1.1	3,300	<0.5	1.4	0.12
	30	安達太田川(2) (河原田橋)	7.9	0.9	4.7	9.1	13	130,000	<0.5	1.0	0.15
			7.6	0.7	2.5	12.0	21.0	3,300	<0.5	1.2	0.07
	31	口太川(2) (蛇淵橋)	7.9	0.7	3.6	8.6	8.9	49,000	<0.5	1.0	0.06
			7.7	0.7	1.3	12.0	<1.0	4,900	<0.5	1.7	<0.06
	32	阿武隈川(3) (国体カヌーゴール)	7.7	0.6	4.4	8.8	13	49,000	<0.5	0.93	0.08
			7.7	1.9	3.0	12.0	1.6	7,900	<0.5	1.7	0.07
	33	阿武隈川(4) (漕艇場)	7.7	1.0	4.2	8.8	6.3	49,000	<0.5	0.89	0.07
			7.6	1.2	3.1	12.0	1.4	3,300	<0.5	1.6	0.06
	34	立石川(準用河川) (支所前ボックス)	7.7	1.1	3.7	8.8	3.3	49,000	<0.5	1.2	<0.06
			7.6	0.7	1.5	11.0	1.7	2,200	<0.5	1.5	<0.06
環境基準値(類型B)			6.5~8.5	3以下	/	5以上	25以下	5000MPN/100ml 以下	/	/	/

(資料：二本松市生活環境課)

(注1) 上段：9月測定数値、下段：12月測定数値

(注2) 環境基準の当てはめが適用される地点は、阿武隈川(1)(2)のみで類型Bが該当します。

(注3) 阿武隈川(1)(2)以外の河川は環境基準の当てはめが適用されませんが、参考値として基準値を超過した数値には「網かけ」をしています。

【BOD（生物化学的酸素要求量）の推移】（年間平均値）

（単位：mg/l）

河川名	No.	調査地点	類型	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	単純平均
六角川	1	賽の神橋	(B)	3.1	2.4	3.1	2.9	3.7	2.5	2.4	2.2	2.2	2.0	2.7
鯉川	2	鯉川橋	(B)	8.7	3.6	2.5	3.5	2.7	1.7	2.9	3.0	1.8	1.9	3.2
	3	天皇田橋	(B)	1.8	2.2	1.6	1.9	2.4	1.7	2.1	2.3	1.6	1.2	1.9
杉田川	4	杉田橋	(B)	0.6	0.8	0.9	1.1	1.0	1.0	1.1	1.4	1.0	1.2	1.0
羽石川	5	木藤次郎内橋	(B)	1.2	1.5	1.6	2.0	2.1	1.5	1.8	1.7	1.4	1.5	1.6
平石川	6	八串遠橋	(B)	0.7	0.7	0.8	0.6	1.2	0.7	1.4	1.6	1.2	1.3	1.0
原瀬川	7	蟹澤橋	(B)	0.6	0.5	0.7	0.8	0.8	0.7	1.1	1.6	0.9	0.8	0.9
弘川	8	加持内橋	(B)	0.4	0.4	0.9	0.8	0.8	1.2	1.1	1.1	0.8	0.8	0.8
	9	田子屋橋	(B)	0.7	0.6	0.6	0.6	1.4	0.8	1.4	1.2	0.9	0.7	0.9
油井川	10	荒神橋	(B)	0.4	0.3	0.6	1.2	1.1	1.0	1.7	1.3	0.9	0.5	0.9
	11	油井川橋付近	(B)	0.5	0.7	0.9	0.9	1.1	1.1	1.3	1.0	0.9	0.8	0.9
浅川	12	観音堂橋	(B)	1.3	1.7	1.8	2.6	2.2	1.8	1.4	1.4	1.8	2.1	1.8
阿武隈川	13	菅田橋	B	1.1	0.9	1.3	1.5	1.4	1.3	1.7	1.7	2.1	1.3	1.4
	14	智恵子大橋	B	0.9	1.2	1.1	1.6	1.4	2.0	1.8	2.1	1.8	1.5	1.5
	15	国体カヌーゴール	B	0.7	0.8	0.9	1.3	2.0	1.2	1.8	1.9	1.6	1.3	1.4
	16	漕艇場	B	0.7	0.8	0.9	1.4	1.9	1.0	1.9	1.5	1.4	1.1	1.3
箕輪用水	17	岳公園入口	(B)	0.7	0.3	0.8	1.3	0.6	1.1	1.3	1.2	1.3	0.6	0.9
	18	岳温泉大和	(B)	0.4	0.3	0.5	1.5	0.8	1.1	1.5	1.3	1.1	1.0	1.0
	19	岳温泉横森	(B)	0.6	0.4	0.5	1.2	0.5	1.1	1.5	1.2	1.1	1.0	0.9
	20	岳温泉横森	(B)	0.5	0.5	0.5	1.2	0.8	1.1	1.3	1.1	1.1	0.8	0.9
水原川	21	観音堂橋	(B)	0.6	0.7	0.7	0.8	1.1	0.8	1.2	1.2	0.8	1.2	0.9
轟川	22	松葉橋	(B)	2.3	2.7	3.3	1.8	3.0	1.3	1.6	1.3	1.5	1.4	2.0
小浜川	23	前田橋	(B)	0.3	0.6	0.7	0.9	0.9	1.0	1.2	1.5	0.8	0.6	0.9
	24	柏木田橋	(B)	0.5	0.8	0.9	0.8	1.9	0.7	1.2	1.5	0.9	1.4	1.1
移川	25	川前橋	(B)	0.4	0.4	0.8	0.8	0.7	0.9	1.3	2.2	0.8	0.8	0.9
	26	移川橋付近	(B)	0.4	0.4	0.7	0.9	0.8	0.6	1.6	1.2	0.8	0.7	0.8

河川名	No.	調査地点	類型	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	単純平均
口太川	27	口太橋	(B)	0.4	0.4	0.5	0.8	1.0	0.8	1.2	1.2	1.2	1.6	0.9
	28	蛇淵橋	(B)	0.3	0.3	0.9	0.9	0.8	1.7	1.3	1.2	1.0	0.7	0.9
針道川	29	盤城橋	(B)	0.7	0.7	0.7	0.9	1.3	0.9	1.4	1.9	1.0	1.2	1.1
木幡川	30	問屋橋	(B)	0.2	0.4	0.6	0.8	0.7	0.7	1.1	1.2	1.0	1.3	0.8
若宮川	31	早稲田橋	(B)	0.7	0.8	1.0	1.0	0.8	1.1	1.5	1.3	1.0	1.1	1.0
安達太田川	32	美女木下橋	(B)	0.4	0.4	0.7	1.0	1.1	0.9	1.3	1.1	0.8	0.9	0.9
	33	河原田橋	(B)	0.6	0.7	0.8	1.1	0.7	0.8	1.4	1.5	0.9	0.8	0.9
立石川	34	支所前 BOX	(B)	0.4	0.4	0.6	0.7	1.2	0.7	1.0	1.1	0.9	0.9	0.8

(資料：二本松市生活環境課)

(注) BOD 環境基準 B類型：3.0 以下

(B)はB類型とみなし、B類型の基準を当てはめている

3. 騒音

騒音は、直接人間の感覚に影響を与えることから「感覚公害」ともいわれ、自動車騒音、事業者・工場騒音等に加え、日常の家庭生活に起因する騒音など様々な状況にあります。

このことから、地域における生活環境の騒音状況を把握するため、市では騒音調査を実施しています。

(1) 環境騒音調査

道路に面しない地域（一般地域）での環境騒音を市内3ヶ所で測定

【環境騒音調査結果の推移】

（単位：デシベル）

観測地点	環境基準 類型	騒音レベル										環境基準	
		H25年度		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度			
		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
若宮一丁目地内	C類型	56.7	48.9	56.6	49.2	56.7	48.9	54.6	47.8	55.2	47.9	60	50
金色地内	B類型	51.1	43.5	50.7	42.7	51.1	43.5	50.0	43.0	49.9	42.6	55	45
表一丁目地内	A類型	52.3	43.7	50.4	38.9	52.3	43.7	50.0	41.9	49.6	39.1	55	45

（資料：二本松市生活環境課）

(2) 自動車交通騒音実態調査

幹線道路に面する地域での自動車騒音を市内3ヶ所で測定

【自動車交通騒音実態調査結果の推移】

（単位：デシベル）

観測地点	環境基準 類型	騒音レベル										環境基準	
		H25年度		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度			
		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
若宮二丁目地内	C類型	67.5	61.5	68.6	61.5	67.8	61.7	67.1	59.7	66.6	59.7	70	65
金色久保地内	B類型	61.9	54.9	61.7	54.0	62.4	55.3	62.1	54.2	62.0	53.1	70	65
表一丁目地内	A類型	63.5	53.3	64.6	59.4	63.9	53.4	64.4	54.5	64.3	52.0	70	65

（資料：二本松市生活環境課）

(3) 高速自動車道騒音調査

高速自動車道の沿線において騒音等の状況を測定

【高速自動車道騒音調査結果の推移】

(単位：デシベル)

調査地点	路肩からの距離	騒音レベル										環境基準
		H25 年度		26 年度		H27 年度		H28 年度		H29 年度		
		昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜	
中ノ目地内	25m	60.6	61.0	63.5	63.2	60.7	60.4	59.5	58.7	60.9	60.5	B、C 類型を 準用 昼：65 dB 夜：60 dB
	115m	57.4	57.1	56.7	56.7	58.9	58.9	55.2	54.3	57.0	55.8	
吉倉字広田	80m	60.4	60.3	56.6	56.3	-	-	-	-	-	-	
	100m	52.3	52.5	51.3	51.6	-	-	-	-	-	-	
吉倉字石田	50m	-	-	-	-	65.4	58.1	60.9	58.2	60.6	56.1	
	100m	-	-	-	-	62.4	56.3	58.2	54.0	57.5	52.8	

(資料：二本松市生活環境課)

(4) 東北新幹線鉄道騒音調査

東北新幹線鉄道の沿線において騒音等の状況を測定

【東北新幹線鉄道騒音調査結果の推移】

(単位：デシベル)

調査地点	新幹線からの距離	騒音レベル					環境基準
		H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	
安達ヶ原六丁目	25m	77.8	78.3	-	-	-	I 類型 70 dB
	50m	76.4	76.9	-	-	-	
	87m	69.9	67.8	-	-	-	
矢ノ戸地内	25m	77.1	77.1	78.2	74.0	76.2	
	50m	74.0	74.9	73.6	71.0	70.3	
	70m	70.5	71.9	69.8	69.6	70.8	
沖二丁目地内	25m	74.4	78.5	78.3	77.8	77.7	
	50m	69.9	70.7	73.0	72.2	76.2	
三合内	25m	80.0	84.0	85.9	83.2	84.0	
	50m	77.2	79.8	81.1	78.0	78.9	
	83m	72.3	74.3	76.0	71.5	73.8	
錦町一丁目地内	100m	72.4	72.3	70.4	71.0	71.7	
	160m	71.3	72.0	70.3	70.0	70.3	
平石三丁目地内	25m	72.9	72.7	73.2	73.2	73.6	
	50m	73.4	73.6	73.4	72.9	72.3	
	86m	73.3	74.3	73.9	72.8	73.5	
上川崎字藤兵内 地内	25m	79.0	82.4	80.6	80.6	80.6	
	50m	73.3	71.1	75.3	74.2	75.2	
	100m	73.1	73.9	74.4	74.5	73.5	

(資料：二本松市生活環境課)

4. 環境放射線量

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に引き続いて発生した東京電力福島第一原子力発電所事故により、現在も放射線が市民生活に影響を及ぼしています。

市では、住宅等の除染作業の推進と合わせ、自家消費用農産物の放射性物質の測定やモニタリングポストでの市内環境放射線量の公表を行っています。

(1) 平成29年度二本松市内環境放射線量測定値の推移

(単位： $\mu\text{Sv/h}$)

地 点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
二本松市役所	0.16	0.16	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.14	0.14
二本松住民センター	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.11	0.11	0.12	0.11	0.11	0.11
塩沢住民センター	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08
岳下住民センター	0.15	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.13	0.13	0.13	0.13
杉田住民センター	0.15	0.14	0.15	0.15	0.14	0.14	0.13	0.13	0.13	0.12	0.12	0.13
石井住民センター	0.11	0.10	0.11	0.11	0.10	0.11	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
大平住民センター	0.18	0.17	0.18	0.18	0.18	0.17	0.17	0.17	0.16	0.16	0.16	0.16
岳温泉一丁目地内	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.07	0.07	0.08
安達支所	0.09	0.09	0.10	0.10	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08
渋川住民センター	0.15	0.14	0.15	0.15	0.15	0.14	0.15	0.14	0.14	0.13	0.12	0.13
上川崎住民センター	0.18	0.18	0.19	0.19	0.18	0.18	0.18	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17
下川崎住民センター	0.16	0.15	0.16	0.16	0.15	0.15	0.15	0.15	0.14	0.13	0.14	0.15
岩代支所	0.14	0.13	0.14	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.12	0.12	0.13
新殿住民センター	0.12	0.11	0.12	0.12	0.11	0.11	0.12	0.12	0.11	0.11	0.11	0.11
旭住民センター	0.11	0.11	0.11	0.11	0.10	0.10	0.11	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10
田沢集会所	0.09	0.08	0.09	0.09	0.08	0.08	0.09	0.09	0.09	0.08	0.07	0.08
田沢(曲山集会所)	0.14	0.13	0.14	0.14	0.14	0.14	0.13	0.13	0.13	0.12	0.11	0.13
初森(憩いの家)	0.11	0.10	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.09	0.09	0.10
東和支所	0.13	0.12	0.13	0.13	0.13	0.13	0.12	0.12	0.12	0.11	0.10	0.11
木幡住民センター	0.12	0.11	0.12	0.12	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.10	0.10	0.11
太田住民センター	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10
戸沢住民センター	0.15	0.14	0.15	0.15	0.14	0.14	0.14	0.14	0.13	0.12	0.11	0.13
戸沢(熊野谷集会所)	0.13	0.12	0.13	0.13	0.13	0.13	0.12	0.12	0.12	0.11	0.10	0.12

(資料：放射線モニタリング情報 原子力規制委員会)

※文部科学省が設置したモニタリングポスト、リアルタイム線量計の値による。

(本データの測定機器は平成24年5月から運用開始)

※毎日12時の測定値を平均。(欠測日は除外)

※積雪の影響で測定値が変動する場合があります。

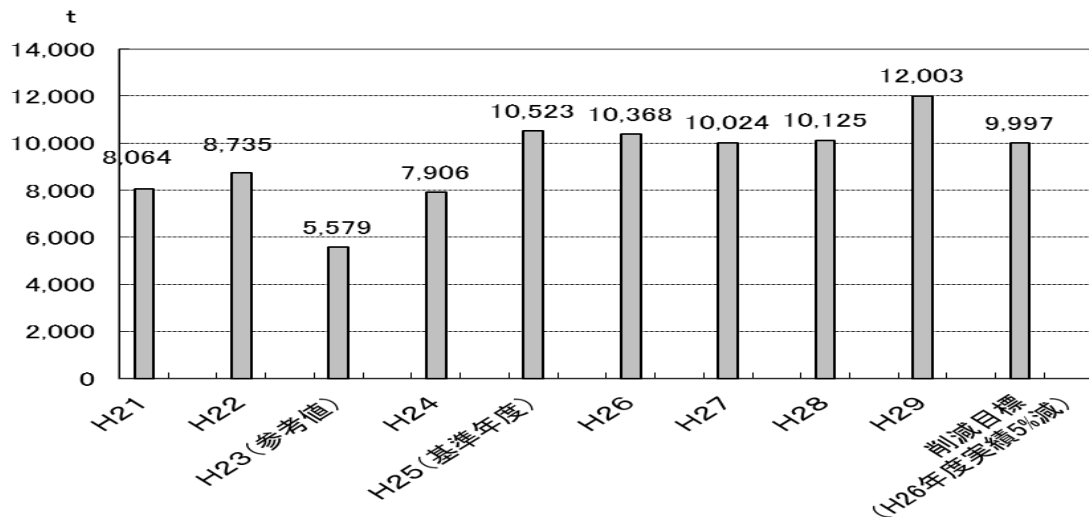
5. 地球温暖化対策

(1) 市所管の施設におけるCO₂排出量の状況

市では「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、市としての事務・事業に関し、温室効果ガスの排出を抑制するための計画を定め、市が所管する施設の温室効果ガスの排出を抑制する取組みを実践しています。

区 分	CO ₂ 排出量	
H21 年度実績値	8,064	
H22 年度実績値	8,735	
H23 年度実績値	5,579 (※)	※東日本大震災の影響により、一部数値の把握が困難だったため。
H24 年度実績値	7,906	
H25 年度実績値 ①	10,523	
H26 年度実績値	10,368	
H27 年度実績値	10,021	
H28 年度実績値	10,125	
H29 年度実績値 ②	11,907	
削減目標値 (H25 年度実績値 5%減) ③	9,997	
H25 基準年度値 H29 年度増減 ②-①	1,480	14.0%の増
削減目標値 H29 年度増減 ②-③	2,006	20.0%の増

※ H26 以降は減少傾向にありましたが、H29 については城山市民プール等の市施設の増加により実績値が増加しました。



(資料：二本松市生活環境課)

(2) レジ袋削減運動

福島県のレジ袋無料配布中止の取組みに合わせ、市は平成 21 年 5 月 13 日に「二本松市におけるレジ袋削減に関する協定書」を市内事業者・関係団体と締結し、同年 6 月 1 日からレジ袋無料配布中止の取組みを実施しています。

【二本松市におけるレジ袋削減に関する協定者】

No.	事業者・団体名等
1	株式会社まるいちフードセンター 智恵子の森店
2	株式会社まるいちフードセンター 若宮店
3	有限会社ショッピングセンターいわしろ
4	株式会社榎屋 スーパーますや
5	特定非営利法人ゆうきの里ふるさとづくり協議会 道の駅ふくしま東和
6	有限会社小野青果 平成やおや二本松店
7	生活協同組合コープふくしまコープマートあだたら
8	株式会社ヨークベニマル二本松インター店
9	株式会社ベイシア スーパーセンター安達店
10	ファームランドヤマロク株式会社
11	さくらの郷管理組合 農産物直売所さくらの郷
12	二本松商工会議所
13	あだたら商工会
14	二本松市婦人団体連合会

(3) 環境講演会

今日の環境問題の本質や解決手段については、一人ひとりが知り、考え、行動することが求められています。市では、環境学習の一環として、二本松市生活環境委員会とともに一般の方を対象に環境をテーマとした講演会の開催や、子どもの環境問題に対する意識向上のための取組みを実施しています。

【講演会】

年度	演 題	講 師
21	環境のために私たちがすべきこと	ペオ・エクベリ 氏（環境コンサルタント）
22	地下水汚染と健康影響	難波 謙二 氏（福島大学准教授）
23	放射線対策講演会	野口 邦和 氏（日本大学講師）
26	家庭で簡単エコライフ	田崎 由子 氏 （うつくしま地球温暖化防止活動推進員）
27	よく省き、よく使い、よく利用する ～3Rの極意～	後藤 忍 氏（福島大学准教授）
28	科学物質って安全？ 一緒に理解を深めよう！	河合 直樹 氏 （河合環境コンサルタント事務所）
29	気候変動による水環境への影響 ～将来に向けて気をつけなければならないこと～	川越 清樹 氏（福島大学准教授）

【子どもの環境意識向上に関する取組み】

年度	取組み内容
24～29	市内の小学4年生へ「環境問題教材」を配布

6. 再生可能エネルギー導入の推進

本市では、地球温暖化やオゾン層の破壊などの環境問題が地球的規模で深刻化している状況を踏まえ、持続可能な循環型社会の実現に向けて、再生可能エネルギーの導入・普及を図っています。

二本松市における再生可能エネルギー導入状況の例

【太陽光発電】

No.	設置施設	稼働年	出力
1	二本松市 石井小学校	2000年	10kW
2	二本松市 市役所本庁舎	2010年	20kW
3	二本松市 東和小学校	2010年	10kW
4	くろがね小屋	2010年	3kW
5	二本松市 とうわこども園	2012年	15kW
6	二本松市 安達支所	2013年	20kW
7	二本松市 岩代支所	2013年	20kW
8	二本松市 東和支所	2013年	20kW
9	二本松市 岳下住民センター	2013年	4kW
10	二本松市 大平住民センター	2013年	5kW
11	二本松市 塩沢小学校	2013年	10kW
12	道の駅安達 下り線	2013年	10kW
13	二本松市 杉田住民センター	2014年	5kW
14	二本松市 渋川住民センター	2014年	3kW
15	二本松市 上川崎住民センター	2014年	3kW
16	二本松市 下川崎住民センター	2014年	3kW
17	二本松市 木幡住民センター	2014年	5kW
18	二本松市 太田住民センター	2014年	5kW
19	二本松市 いわしろさくらこども園	2014年	20kW
20	二本松市 二本松住民センター	2015年	10kW
21	二本松市 原瀬小学校	2015年	10kW
22	二本松市 新殿小学校	2015年	10kW
23	二本松市 旭小学校	2015年	10kW
24	二本松市 にほんまつ保育園	2015年	20kW
25	城山市民プール	2017年	8kW

【太陽熱利用】

No.	設置施設	稼働年	集熱面積	利用施設	導入量
1	二本松市 原瀬小学校	1994年	267 m ²	暖房、給湯	6.7kℓ/年
2	二本松市 はらせ幼稚園	1996年	357 m ²	暖房	3kℓ/年
3	二本松市 第二デイサービスセンター	1996年	367 m ²	暖房	20.2kℓ/年
4	二本松市 石井小学校	2000年	526 m ²	暖房、給湯	29kℓ/年
5	二本松市 安達太良小学校	2004年	980 m ²	暖房	23.3kℓ/年
6	福島県男女共生センター	2000年	30 m ²	-	1.7kℓ/年
7	二本松市 東和小学校	2010年	375 m ²	暖房、プール	33kℓ/年
8	二本松市 とうわこども園	2012年	92 m ²	冷・暖房、給湯	5.1kℓ/年

【風力発電】

No.	施設名称（設置者）	稼働年	出力	定格出力	台数
1	東北プレカットワークス	2003年	7.5kW	1.5kW	5台

【バイオ熱利用】

No.	施設名称	稼働年	熱出力	設備概要
1	名目津温泉	2010年	86,000kcal/時	暖房 給湯：温水ボイラー 主燃料：木質チップ

【バイオ燃料】

No.	施設名称・実施主体等	稼働年	製造量
1	(有)アサギ精工 福島工場	2006年	2,000ℓ/月 ※冬場(1,800ℓ/月)
2	社会福祉法人あおぞら福祉会 菊の里	2007年	100ℓ/日 (5,000ℓ/月)

【小水力】

No.	施設名称	事業主体	稼働年	出力
1	仏台発電所	東北電力(株)	1914年	150kW
2	沢上発電所	東北電力(株)	1908年	340kW